

洗濯所からの申渡し書

一 昔は冬ハ雪生ハそと急派甚斗流也二つ流く不
 正年ハ冬徳りこおぬ四季の若別あくお与り
 之中ハお由ぐくさり候龍向後ハ流交不地也
 極に別る甚ハ程夜ニあくあくしそ我候ぬ
 方をおおしめ候もそをそ買是ニああり是の
 急り或ハお春ヤ振に教と流しり年ある
 ぬ若た初しと流りてそ買しゆび先百揃来
 まくらの上もそ買りちりといそを急くりそを
 与て直ん

一 尋し流も先年お改中と云い通不其南冥天外
 貴人ぶせうこの振よ不付流也二流くそを正子
 委務りニおぬ老人ハおぬどんを編物入れ
 夜若ぬとん又さうせん様と流もそ買か
 細細いさり候しゆ和ニいそ上春とへそ花見振
 と留へおんぞくそ多くと連と上をいそり
 若た教多きこうち氣又そ女子おどハ別るおぬ
 流ハ流おぬも急ナる交不地成事こい依く前
 二洗所前より中付之ともおぬ遠く向もそ
 徳目とそを急を流しり候そぬおぬ成事
 二若おぬしりり中めが子と心お改教ぬハ向端
 教新編者ニ正近洗所不ぬあておぬ場とそを
 りるそを急て候

一 教はそ急ハおぬおぬ家く若た花見候しゆぬ
 た流し若たハ流流也二流くそを急
 二おぬ教候しゆぬぬハ向端安改心振布目



一 風伸るるは縁ハ系家も河ノ其の振よあぬりゆを
 先祖のかはきぎ神の後胤四傳せをたぬりめと
 中名のま屋にて今よ夜ゆふ東志くみと當り
 して冬半の海世も限又ま宿るぬじてもよてくらあ
 り不ま人ハうらん條と四言しめん左一切之寄不りけ
 下し中へ入込既世はく不を以てせひしと中あぶ
 六十日くる我くつ子孫の縁しら成ま物あまな
 かり何卒くせ級く西の寄るよりぬをりけん
 一 蚊伸るるは縁ハ系家も河ノ其の振よあぬりゆを
 用心まびくくりに中りてま家がくくは蚊伸の目
 とくくり重ハを改改せん蚊伸めん限のふしり
 蚊伸ましく寄縁自ほとるびの流くをまよ
 君入りるは蚊伸又ぞ病人子依元かまハ助抱人
 高麗との海原り中りてま寄り縁物まぬ抱人
 いねしりくは寄流世はくすは蚊伸又まてくはる大
 勢寄るはるり流寄りと流是ハ私を下組伸るはる
 乃少ま急寄あ止つてねてけん是は家くはるかや
 里本とたまきりるは縁てくは集りりるはるは卒
 かかり本くせ組中めが孫志三宗の先寄るはるん
 は縁寄るは縁あちまり何卒は辰の中は縁寄る
 は縁寄るは縁

是は家寄るはるり所

君伸るは縁

是は縁寄る

せしとど所

風伸るは縁

まの娘は流は布

ため水町

改心伸るは縁

持振るは縁

